

NPO 法人「フードバンクふなばし」に寄贈

2023年10月4日に、柳澤会長、長崎環境部長、TMS 今西さんと共に、NPO 法人「フードバンクふなばし」を訪問しました。訪問の目的は、敬老会の記念品である煎茶で、引き取りに来られない100個を「フードバンクふなばし」へ寄贈するためです。

敬老会の記念品は80歳以上の対象者1388名に配布する予定でしたが、約150個程度の煎茶が未配布で残りました。それから約2週間かけて、手を尽くして引き取りに来られない対象の方々に連絡しましたが、最終的に100個が未引き取りで残りました。

船橋市高齢者福祉課に相談

し、NPO 法人「フードバンクふなばし」への寄贈が了承されました。



煎茶をフードバンクへ届けたところ、食料以外に煎茶の需要があることが分かりました。引き取りに来られた方に「お茶も有りますよ」と声をかけますと、頂きたいとおっしゃる方は多いそうです。一人親支援の一環として大変ありがたいとのことでした。

NPO 法人「フードバンクふなばし」は、2018年に笹田明子代表が個人で子供食堂を始めたことから始まります。子供食堂を始めた頃は、食材も調味料なども不足し困っていました。千葉市のフードバンクに伺った際、好きに要る物を持って行って良い、と言われた事がフードバンクの活動を始めるきっかけだったそうです。

その後、コロナ禍で京葉食品コンビナートのメーカーは、外食産業等が不振となり、製造した食品が余剰となっていました。一方で雇い止めにあたりした一人親世帯は困窮していました。ある所から必要なところへ、橋渡しができないかという思いで船橋市の協力を得て活動を活発化していったそうです。2020年にはNPO 法人となりました。その主な目的は、一人親家庭の支援です。以下の船橋市の部門と連携しています。又、2022年には船橋市と連携協定を締結しました。

船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる
こども家庭支援課 ひとり親家庭相談
家庭福祉課 家庭児童相談室
子育て世代包括支援センター「ふなここ」

これらの窓口から、食料支援が必要な方々の情報を受け取り、パントリー（受渡場所）での事前予約を通じて食料を提供しています。個人からの食料支援は、各スーパーの店舗、船橋市役所資源循環課、船橋市メグスパに設置された「きゃろくんBOX」に寄付する形で行われています。また、企業からも食料が直接送付されたり、持参されたりしているそうです。丸山町会としてはささやかではありますが、社会貢献活動の一助となったと考えております。

詳細な情報は、NPO 法人「フードバンクふなばし」のウェブサイト
(fb-funabashi.com) でご確認ください。